

事務事業名		甬嶺横断線道路新設事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	生活道路の整備				01	08	02	03	74
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 平成28年度～平成30年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	都市整備部建設課				A 政策事業 (B) 施設整備				
	課長名	新沼克彦				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	土木係	電話	0192-27-3111	E 一般(A～D以外)					
	担当者	村上浩人	内線	7127						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
主要地方道大船渡綾里三陸線が唯一の連絡道である三陸町越喜来甬嶺地区付近は、東日本大震災の津波により浸水し、緊急車両の通行及び物資の輸送等ができなくなった。復興計画により整備方針が示されたが、津波シミュレーションで主要地方道が浸水区域となることから、緊急時にも安全に通行できる道路を整備するものである。 本路線の整備は延長L=860m(取付140m含む)幅員W=5.0mとする。 【計画期間】 ・測量調査設計(一式)平成28年度、補償物件調査・保安林解除・用地補償A=13,535m ² ・工事施工L=180m 平成29年度、工事施工L=680m・道路台帳補正L=860m 平成30年度 本事業の完了は平成30年度の予定である。 事業費は委託費、土地購入費、補償費、工事費、事務費として支出される。				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	84,345			
					財源内訳	都道府県支出金				
						地方債				
						その他				
						一般財源	56,240			
						事業費計(A)	140,585			
					人件費	正規職員従事人数	3			
					延べ業務時間	704				
					人件費計(B)	2,816				
					トータルコスト(A)+(B)	143,401				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位	
測量調査設計	ア 用地買収面積	m ²	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ 施工延長	m	
補償物件調査・保安林解除・用地補償A=13,535m ² ・工事施工L=180m	ウ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	名称	単位
新設市道(甬嶺横断線)、甬嶺地区住民	カ 計画総延長	m	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	キ 主たる利用者数	人	
災害時、浸水区域を避けて避難・輸送できる。	ク		
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称	単位
安全に移動および活動できる。	サ 十分な幅員で舗装された供用開始道路延長	m	
	シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)	%	
	ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	24,345	60,000			
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	16,240	40,000			
		事業費計(A)	千円	0	40,585	100,000	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人		2	3		
		延べ業務時間	時間		128	576		
		人件費計(B)	千円	0	512	2,304	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	41,097	102,304	0	0
⑤活動指標	ア	m ²		13535	13535			
	イ	m		860	860			
	ウ							
⑥対象指標	カ	m		860	860			
	キ	人		130	130			
	ク							
⑦成果指標	サ	m		0	180			
	シ	%		0	21			
	ス							

事務事業ID	1695	事務事業名	甫嶺横断線道路新設事業
--------	------	-------	-------------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 主要地方道大船渡綾里三陸線が唯一の連絡道である三陸町越喜来甫嶺地区付近は、東日本大震災の津波により浸水し、緊急車両の通行及び物資の輸送等ができなくなった。復興計画により整備方針が示されたが、津波シミュレーションで主要地方道が浸水区域となる。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 緊急時にも安全に通行できる道路を求められている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 越喜来復興委員会から示された地域要望ルートによる計画であるが、別ルートを求める声も一部ある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 改良整備により安全快適に利用できるので、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 公共施設の道路改良は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 この事業により利用者が安全に利用できるようになるため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の向上余地が認められない(年度ごとの実績はあるが、全区間の整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない)。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 安全で快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地は無い。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限で対応していることから、削減の余地は無い。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 一般に供する道路であることから受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	現状維持で継続して事業を実施する。	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	➡	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続して事業を実施する。